

京丹後市立図書館

2025年度

おすすめの本

低学年
1・2年生向き

『このほんよんでくれ!』(クレヨンハウス)

ベネディクト・カルボネリ/文 ミカエル・ドゥリュリュ/絵 ほむら ひろし/訳



ベンチで父親が娘に絵本を読むのを聞いていたオオカミ。続きが知りたくて、偶然手に入れた絵本を読もうとしますが、オオカミは字が読めません。そこで、森の動物に読んでくれるよう頼みますが、みんなオオカミを恐れて…。

『ばくばくはんぶん』(福音館書店)

渡辺 鉄太/ぶん 南 伸坊/え



おばあさんが焼いた大きなケーキ。おばあさんは「半分残し」といってね、でかけていった。おじいさんがまず半分、次に動物たちが半分ずつ食べ、ケーキはどんどん小さくなって…。

『にちようびのぼうけん!』(ほるぷ出版)

はた こうしろう/作



ぼくのところに「公園につくまで、ぜったいにだれにもみつかってはいけない」と書かれた、なぞの手紙が届いた。なにこれ? おもしろそう! ぼくはおにいちやんといっしょに、冒険に出発し…。

『おまえたち、くっちゃんぞ〜! わにがめのアルとちいさなさかなたち』(ポプラ社)

ジョン・ヘア/さく 万木森 玲/やく



わにがめのアルは、池の底で大きな口をあけ、ミミズのような舌をゆらゆらさせて、さかなをおびきよせようとしています。たくさんのさかなが集まってきますが…。わにがめアルのおもしろいお話。

『はじめてまなぶもちかたのえほん』（PHP研究所）

宮里 暁美/監修 常永 美弥/絵



おはし、茶わん、けん玉、はさみ、えんぴつ、歯ブラシ…。家で
の生活や学校での勉強のなかで出会う道具の「もちかた」
「つかいかた」を、イラストで分かりやすく紹介する。

『のりができるまで』（ひさかたチャイルド）

伏屋 満/監修 北川 暢男/写真



身近な食材である「海苔」は、どこでどのように作られている
のでしょうか？海苔の「種」を付着させた網を海に張るところ
から、ぱりぱりの海苔が出来上がるまでを、養殖現場の写
真で紹介しします。

『あらいぐまのせんたくもの』（童心社）

大久保 雨咲/作 相野谷 由起/絵



おばあさんがコインランドリーにやってきました。そこにあら
いぐまがあらわれて「ぼくのハンカチもいっしょに洗ってほし
いの」と言いました。ハンカチについていたシミは…。心が
ふっと軽くなる、あたたかいおはなし。

『ぼく、ちきゅうかんさつたい』（出版ワークス）

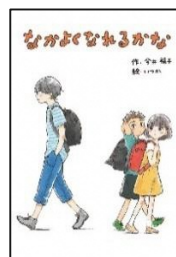
松本 聡美/作 ひがし ちから/絵



トモヤはおじいちゃんと「地球観測隊ごっこ」をしている。まわり
のものをしっかり観察して、発見したことを隊長のおじいちゃん
に報告するのがトモヤの仕事。小さな発見を分かち合うよこ
びを通じてトモヤが成長する姿を描く。

『なかよくなれるかな』（文研出版）

今井 福子/作 いつか/絵



しょうがっこう しいく ごや
小学校の飼育小屋にいるウサギのチュロに会いたいと思っ
ている1年生のれな。でも、いつも怒鳴ったり、怒ったりしてい
る飼育係の6年生のお兄さんがこわくて、会いに行けない。
友だちになれるといいね、とママは言うけれど…。

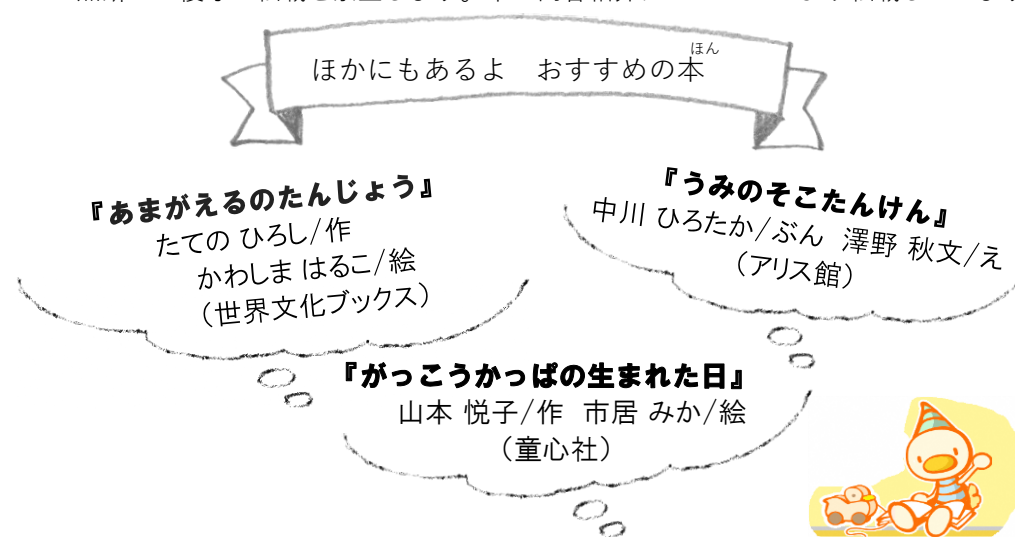
『そんなうそだ!』（岩波書店）

ジーン・メルル/作 小宮 由/訳 坂口 友佳子/絵



なまけ者のサルとブタとキツネ。ある日、彼らのまえに、豪華
な服をきたイヌがあらわれます。「イヌの豪華な服をうばい
とってやろう!」と、3びきは、ほら話の勝負でイヌをだまそうと
しますが…。ゆかいなお話対決。

無断での複写・転載を禁止します。本の内容紹介はTRC MARCより転載しています。



か だ ちゅう ほん よやく しょういん
貸し出し中の本は予約もできます。くわしくは職員におたずねください